

福岡県福岡市域における

祝言のあいさつ

住田 幾子

○はじめに

1. 対象地の地理的環境：福岡県内のいわゆる筑前方言域にあって、「博多方言」色が濃いとされる所である。
2. 対象地の社会的経済的環境：福岡県の県庁所在地であり、周辺の地域をとりこむ、一大商業圏の中心を成している。
3. 生業：福岡市街区の商業地域での調査に集中した。
4. 交通：JR・バス・地下鉄が走る、交通の要衝地である。
5. 人口：県内・県外からの人口の流入が多い。近年、土地っ子が極端に減少しているようである。
6. 調査年月日：1991年3月5・6・22・24日
7. 方言話者：高木春子 明治44年生（福岡市東区馬出）
石田順平 大正5年生（福岡市博多区住吉）
その他、50歳台と90歳台の女性2名に捕い調査を行った。
8. 調査者、調査場所：住田幾子、被調査者宅
9. 調査方法：質問法により、録音した。
10. その他の気づき：本調査は予想外に、次の二点において困難であった。
一つは、人口の流動の激しい市街化区域なので、土地っ子の話者になかなか出会えなかったことである。
二つには、ようやく見つけた話者が、「祝言のあいさつ」を特別なものと考えて、とても自分にはつとまらないという場合が多々あった。「さあ、何と書いていたであらうか。」「そんなにむずかしいことは言わない。」「よそとっしょだ。」「昔と今は変わったから、

よくわからない。」などの言がある。

ようやくにして、男・女1名ずつの話者を得た。両者ともに、質問項目のすべてについて場面を想像してもらい、あるものは、実際に「自分がこう言った」という表現であり、また経験はないが「博多のことばではこう言うだろう」という表現もある。そして、ほとんどの表現が、簡単になってきたと言われる現代の祝言にまつわる生きたことばである。

I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人（新婦の父親）に向かって、どのようなあいさつをしますか。

○ホンジツワ オヒガラモ ヨク ナニナニケカラ アズカリマシ
タノデ ドーゾ オウケトリクダサイ。 本日は、お日柄も良
く、何々家から預かりましたので、どうぞお受けとりください。

2. その家の主人（新婦の父親）は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。

○タイヘン ゴクローサマデ ゴザイマシタ。 ウケトラシテ イタ
ダキマス。 たいへんご苦労さまでございました。受けとらせて
いただきます。

○ゴテイネーナ ユイノー イタダキマシテ アリガトーゴザイマ
シタ。 ユキトドカン ムスメデスケド ヨロシユ オネガイシ
マス。 ごていねいな結納をいただきましてありがとうございます
ました。 ゆきとどかない娘ですけど、よろしく願います。

3. その時の新婦のあいさつがあれば記してください。

特にない。無言で「のし」（盆などに鱧節や河豚を乗せたもの）を出す。

II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って近所の人たちはどのようなお祝いのあいさつをしますか。

○マー オメデトーゴザイマシタ ネー。アソド シナザシタ
ナー。 まあ、おめでとうございましたねえ。安堵なさったねえ。

○オメデトーゴザイマス。オタクワ オヨメサン モライナサルゲ
ナ。 おめでとうございます。お宅はお嫁さんを貰われるそうなの。

○オタクワ オメデトーゴザイマス。ヨゴザシタ ナー。 お宅
はおめでとうございます。良かったですねえ。

○オタクノ ナニナニサンニワ コンドワ ヨカ ゴエンガ アッ
タソーデ ゴザイマス ナー。ソラ オメデトーゴザイマス。

お宅の何々さんには、今度は良いご縁があったそうでございます
なあ。それはおめでとうございます。

○ゴソダ マー オキマリニ ナリマシタソーデ ソラ マー
ドーモ オメデトーゴザシタ。 今度は、まあ、お決まりになり
ましたそうで、それは、まあ、どうもおめでとうございました。

2. 嫁をもらう家の人、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつを
しますか。

○エー オカゲサマデ。マー ヨカ ヨメサンオ モラウ コトニ
ナリマシテ ウチモ ヨロコンドリマス。 はい、おかげさま
で。まあ、良い嫁さんを貰うことになりまして、家もよろこんで
おります。

○オカゲデ ヨカ イエカラ モラウ コトニ ナリマシテ ミン
ナ ヨロコンドリマス。 おかげで良い家から貰うことになりま
して、みなよろこんでおります。

○オカゲサマデ アリガトーゴザイマシタ。 おかげさまでありが

とうございました。

Ⅲ. 嫁に出すことがきまった家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁に出すことが決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。

○オタクワ オメデトーゴザイマシタ ネ。アンドサッシャッタデス ネ。お宅はおめでとうございましたね。安堵なさいましたね。

○ヨガ ヴチニ キマリマシタソーデス ナ。アッチナラ ダイジョーブデス バイ。良い家に決まりましたそうですね。こちらなら大丈夫ですよ。

○アー リッパナ オコサンヤケン ジョートーデス タイ。ああ、立派なお子さんだから上等ですよ。

2. 嫁に出す家の方は、そのあいさつに答えて、どのようなあいさつをしますか。

○オカゲサマデ マー ブジ キマリマシテ イチドー ミシナヨロコビヨリマス。おかげさまで、まあ、無事に決まりまして一同、みな喜んでおります。

○オカゲサマデカラ エー トコ イキマスノデ アンドシマシタ。おかげさまで良いところへ行きますので安堵しました。

Ⅳ. 結婚式当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たちは（親戚以外）、どのようなあいさつをしますか。

1. 新郎の父親にどのようなあいさつをしますか。

○ヨカ ゴエンデ オメデトーゴザイマス。サソ ゴアンシンデゴザイマッショー。コゲナ シキニ ヨンデ イタダキマシテ。

良いご縁でおめでとうございます。さぞご安心でございませう。このような式によんでいただきまして。

○コノタビワ、オメデトーゴザイマシク、ネー。このたびはおめでとうございましたねえ。

1-2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○オイソガシーノニ、オハコビクダサイマシテ、アリガトーゴザイマシタ。お忙しいのにおはこびくございましてありがとうございます。

○オカゲサマデ、マー、コレデ、マー、ヒトアンドデ、ゴザイマス。おかげさまで、まあ、これで、まあ、ひと安堵でございませう。

○アリガトーゴザイマス。ありがとうございます。

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

1の新郎の父親に対するものと変わらない。

2-2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

新郎の父親の場合とほぼ変わらない。

○オカゲサマデカラ、エー、トコ、イキマスノデ、アンドシマシタ。おかげさまで、良いところへ行きますので安堵しました。

V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回る時、姑はどのようなあいさつをしますか。

○コレカラ、ウチノ、ヨメトシテ、ムカエマシタ。ワタシドーヨー、マー、ヨロシユ、オネガイシマス。これから家の嫁として迎えました。私同様、まあ、よろしくお願ひします。

○ヨメゴ、ヨビマシタケン、ドーゾ、ヨロシユ、オネガイシマス。嫁をよびましたので、どうぞよろしくお願ひします。(その折、

饅頭を持参した。)

2. そのあいさつに答えて、近所の人はどのようなあいさつをしますか。

○アー ヨゴザシタ ナー。オメデトーゴザイマス。マー ヒトツ
キヤス ツキオーテ クダザッサー。 ああ、良かったです
なあ。おめでとうございます。まあ、ひとつ、気安くつきあ
ってくださいませ。

3. 上記のほか、現在の博多区馬出地域では、戦前の風習として、婿の紹
介(イチバンアルキ)がなされたという。(ムコサンは、白扇を手に
して、その折、洗粉を配ったという。式後、三日目に行なわれ
た。)

○コレガ モー ムスメノ ムコデ ゴザイマス。ヨロシユー オ
ネガイシマス。これが、もう、娘の婿でございます。よろしく
お願いします。

○ソーデス カ。ソリャ マー ドーゾ ヨロシユー オネガイシ
マス。 そうですか。それは、まあ、どうぞよろしくお願いま
す。(返礼の折に、「のし」を出していた。)

VI. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男(29歳)に嫁をもらった60歳台の父親へ、結婚式
に招かれた50歳台の女性が昼下がりの路上で、どのようなお祝いのあ
いさつをしますか。

○ヨゴザシタ ナー。サゾ ゴアンシンデッショウ。 良かったです
なあ。さぞご安心でしょう。

○オメデトーゴザイマス ナ。ヨカ オヨメサン キナザシタ
ナー。アンドナサイマシタ ネー。 おめでとうございますね。
良いお嫁さんが来られましたねえ。安堵なさいましたねえ。

2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○マー コレデ ヒトアンドデ ゴザイマス タイ。ドーソ ヨロ
シュー オネガイシマス。 まあ、これでひと安堵でございます
よ。どうぞよろしくお願いします。

○オカゲサマデ ヨカ ヨメゴ ヨンデ アンドシマシタ。 おか
げさまで良い嫁をよんで安堵しました。

VII 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦（あるいは両親）がお礼に行った時、
どのようなあいさつをしますか。

○コノタビノ コトニツイテワ ナニカラナニマデ ゴメイワク
カケマシテカラ アリガトーゴザシタ。 このたびのことについ
ては何から何までご迷惑をかけまして、ありがとうございます。

○コノタビワ イロイロト オココロズカイ シテイタダイテ ア
リガトーゴザイマシタ。 このたびは、いろいろとお心づかいし
ていただいてありがとうございます。

2. 仲人は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ナンニモ イタリマセンデ。マー オヤクニ タチマシタ カ
ドー カ。オメデトーゴザイマス。モー ワザワザ イソガシカ
トコイ ゴネンノ イリマシテ。 何にもいたりませんで。ま
あ、お役にたちましたかどうか。おめでとうございます。もう、
わざわざ忙しいところにご念のいりまして。（ごていねいにどう
も。）

○コノタビワ オメデトーゴザイマシタ ナー。イキトドキマシェ
ンデシタケド。マンゾクナ ケッコンシキニ ナサイマシテ ヨ
ゴザイマシタ。ヨカ ケッコンシキデ ゴアンドナサイマシタ

ナー。このたびはおめでとうございましたなあ。いきとどきませんでしたけど。満足な結婚式になさいまして良うございました。良い結婚式でご安堵なさいましたなあ。

Ⅷ 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつをしますか。

○サトニ アイサツニ カイラセテ イタダキマス。里にあいさつに帰らせていただきます。

○オカサンニ イッテキマス。お母さん、いってきます。

2. 両親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ゴリョーシンニ ヨロシユ。ドーゾ ユックリ ヤスンデ キナサイ。ご両親によろしく。どうぞゆっくり休んでください。

○ユックリシテ キナーイ。ゆっくりしててください。

(梅光女学院大学短期大学部)